

平成25年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：交通政策課

担当名：鉄道担当

内線：2227

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B15	駅ホームの転落防止対策推進事業費			一般会計	総務費	企画費	企画調整費	県内既設鉄道整備促進費	
事業期間	平成25年度～平成29年度	根拠法令	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律			戦略項目			
						分野施策	050202 便利な公共交通網の整備		
1 事業の概要 駅ホームからの転落事故等を防止するため、ハード施策として、一部の駅をモデルにホームドアの設置経費を補助するとともに、利用者の多い駅等について、点状ブロックの整備経費を補助する。 さらに、ソフト施策として、特に事故に遭いやすい視覚障害者への声かけ・サポート方法について普及啓発を行う。 (1) ホームドア設置促進モデル事業 2,395千円 (2) 点状ブロック整備促進事業 13,300千円 (3) 声かけ・サポート啓発事業 221千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア ホームドア設置促進モデル事業 4,650千円 ホームドア設置のための技術的課題調査(ホーム改良のための測量・地質調査)に対する補助 イ 点状ブロック整備促進事業 25,000千円 利用者の多い駅(利用者数1万人以上)等での内方線付き点状ブロックの整備に対する補助 ウ 声かけ・サポート啓発事業 800千円 各地域でサポート活動のリーダーとなることが期待される者(市町村の担当者、NPO関係者等)を対象としたサポートリーダー講習会の実施等 (2) 事業計画 ア 平成25年度 技術的課題調査補助 平成26年度 ホーム改良・ホームドア設置工事の設計費補助 平成27年度 ホーム改良工事費補助 平成28年度 ホームドア設置工事費補助 イ 平成25～29年度 内方線付き点状ブロックの整備費補助 ウ 平成25～26年度 サポートリーダー講習会実施等 (3) 事業効果 ア モデル事業実施によるホームドア設置気運の醸成 イ 視覚障害者の転落事故減少 ウ 視覚障害者への声かけ・サポートを行う県民の増加 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 市町村・NPO等を通じて、視覚障害者へのサポートを行う県民の増加を図るとともに、鉄道事業者や各種団体等と連携して、効果的な広報活動を行う。 (5) 補正予算の概要 ア ホームドア調査箇所の減による減額 イ 内方線付き点状ブロック整備箇所の減及び工事費用が当初見込みを下回ったことによる減額 ウ 声かけサポート講習会において、一部講師の報償費が不要になったこと及びその他の講師等についても当初見込みを下回る額で依頼できたことなどによる減額 事業計画の変更 ホーム改良工事費補助：平成27～28年度、ホームドア設置工事費補助：平成27、29年度					
2 事業主体及び負担区分 (1) 調査(県1/2)事業者1/2 設計(県1/3)事業者2/3 工事 国1/3(県1/3)事業者1/3 (2) 国1/3(県1/6)市町村1/6・事業者1/3 (3) (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1人=9,500千円									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	補正後の 予算額
決定額	15,916							15,916	14,534
現計額	30,450							30,450	